



日本台湾学会

第22回学術大会プログラム



共催：早稲田大学政治経済学術院、早稲田大学台湾研究所

【お知らせ】

※本大会における分科会は、2020年3月7日の常任理事会決議により、学会ウェブサイト上での紙上開催となりました。報告は論文フルペーパーおよびリプライを、コメントはコメントを期限内に提出・公開することをもって成立と見なされます。

※第1分科会は、台湾文学学会との交流協定にもとづく同会会員による企画で、日本台湾学会会員の応募と同一の審査を経ています。

※公開シンポジウムは、2回のYoutubeによる動画配信を中心とするウェブ開催となりました(5月6日更新)。

分科会プログラム

◇第1分科会(文学) 1セッション企画

「戦後初期台湾における歴史記憶はいかに表象されたか」

◎企画責任者：黄美娥(台湾大学)

◎座長：垂水千恵(横浜国立大学)

◎報告：

・黄美娥(台湾大学)「傷跡を消す方法はなにか——「澎湖七一三冤罪事件」に関する文学創作、時代表象及び作家心境」

・王恵珍(清華大学)

「台湾籍日本兵の帰還文学と南洋の記憶」

◎コメンテーター：松浦恒雄(大阪市立大学)、和泉司(豊橋技術科学大学)

◇第2分科会(政治学・社会学) 1セッション企画

「イノベーションの視点で見る台湾社会の草の根力——ブロックチェーンと社区营造」

◎企画責任者：佐々木孝子(早稲田大学)

◎座長：北波道子(関西大学)

◎報告：

・李駿怡(ノッティンガム大学)

‘Does Innovation Require Democracy? Looking the Cases of Taiwan and China’s Innovation Process.’

・佐々木孝子(早稲田大学)

「ソーシャルイノベーションとしての社区营造——屏東県林邊郷A村を事例に」

◎コメンテーター：長内厚(早稲田大学)

◇第3分科会(文学) 自由論題

◎座長：倉本知明(文藻外語大学)

◎報告：

・謝惠貞(文藻外語大学)

「在日台湾人作家温又柔『空港時光』研究」

・星名宏修(一橋大学)

「頂坡角から武蔵野へ——小崎治子の「癩短歌」を読む」

◎コメンテーター：川口隆行(広島大学)、西成彦(立命館大学)

◇第4分科会(歴史学) 自由論題

◎座長：北村嘉恵(北海道大学)

◎報告：

・詹亜訓(東京大学・院生)

「植民地台湾におけるアナーキズム運動を再考——幸徳秋水と大杉栄を手かがり」

・周俊宇(早稲田大学)

「1920年代における「台湾議會設置請願運動」の民族心理論」

◎コメンテーター：何義麟(台北教育大学)、許時嘉(山形大学)

◇第5分科会(文学) 2セッション企画(第8分科会に続く)

「一九三〇年代における台湾文学の受容と変容——演劇と詩の越境からみる」

◎企画責任者：呉佩珍(政治大学)

◎座長：呉佩珍(政治大学)

◎報告：

・呉佩珍(政治大学)

「一九三〇年代におけるアイルランド文学の越境と台湾新文学」

・呉宗佑(政治大学・院生)

「台湾新劇の大衆化——『台湾文芸』の脚本を中心に」

◎コメンテーター：山口守(日本大学)、呉叡人(中央研究院)

◇第6分科会(社会言語学・文学) 自由論題

◎座長：富田哲(淡江大学)

◎報告：

・呂美親(台湾師範大学)

「「聖火」と「慾火」——王貞文の台湾語小説「自由時代」における宗教思想と政治思想の交錯について」

・酒井亨(公立小松大学) ※2020年4月 本人都合により報告取り下げ

「台湾ホラー語アドボカシーの拠点、北米における運動と島内への影響」

◎コメンテーター：森田健嗣(東京大学)、藤井久美子(宮崎大学)

◇第7分科会(映画) 自由論題

◎座長：三澤真美恵(日本大学)

◎報告：

・原口直希(一橋大学・院生)

「台湾人が抱く対日意識の変容——映画『海角七号』を中心に」

・魏逸瑩(早稲田大学・院生)

「1960年代の台湾で製作された「国台語混合発音電影」からみた省籍矛盾」

◎コメンテーター：林初梅(大阪大学)、中川仁(明海大学)

◇第8分科会(文学) 2セッション企画(第5分科会から続く)

「一九三〇年代における台湾文学の受容と変容——演劇と詩の越境からみる」

◎企画責任者：呉佩珍(政治大学)

◎座長：呉佩珍(政治大学)

◎報告：

張政傑(中央研究院)「吳坤煌の「詩精神」——マルクス主義者と行動派詩人として」

張詩勤(政治大学・院生)「台湾におけるプロレタリア詩の萌芽——雑誌『無軌道時代』を中心に」

◎コメンテーター：山口守(日本大学)、呉叡人(中央研究院)

◇第9分科会(歴史学) 自由論題

◎座長：浅野豊美(早稲田大学)

◎報告：

・松葉隼(一橋大学・院生)

「法域と海域——日本統治期台湾における「海事」問題」

・松田ヒロ子(神戸学院大学)

「台湾人元日本軍人・軍属とその家族に対する戦後補償請求運動(1975-1992)の検討」

◎コメンテーター：やまだあつし(名古屋市立大学)、清水麗(麗澤大学)

◇第10分科会(文学) 自由論題

◎座長：三木直大(広島大学)

◎報告：

・倉本知明(文藻外語大学)

「台湾人少年工たちにとっての「戦後」——呉明益『睡眠的航線』における三島由紀夫表象を手がかりに」

・伊蒙楽(一橋大学・院生)

「「南京雑感」に関する研究——「南京要人印象記」から呉濁流の大陸経験を再考する」

◎コメンテーター：松崎寛子(日本大学)、河原功(台湾協会)

*公開シンポジウム 「台湾総統選挙の四半世紀」 プログラム

第1部 台湾総統選挙の重層的評価

開会挨拶	川上桃子	
特別報告	若林正文	歴史の中の台湾総統選挙
基調報告	小笠原欣幸	台湾総統選挙 7回の概括
報告 3	松本充豊	台湾の執政制度と総統選挙
報告 4	松田康博	中国の対台湾政策と総統選挙
報告 5	佐橋亮	米国の対台湾政策と総統選挙

第2部 台湾総統選挙の多面的観察

報告 6	王業鼎	民意調査の実務者として見た総統選挙の四半世紀
コメント	赤松美和子、黒羽夏彦	私にとっての台湾総統選挙
討論	会員/一般	フロアーからの質問・問題提起
総括	川上桃子	